

DX Support Training Service

ChatGPT業務活用編

株式会社サイネックス・ネットワーク



会社概要

会社名：株式会社サイネックス・ネットワーク

所在地：〒543-0001

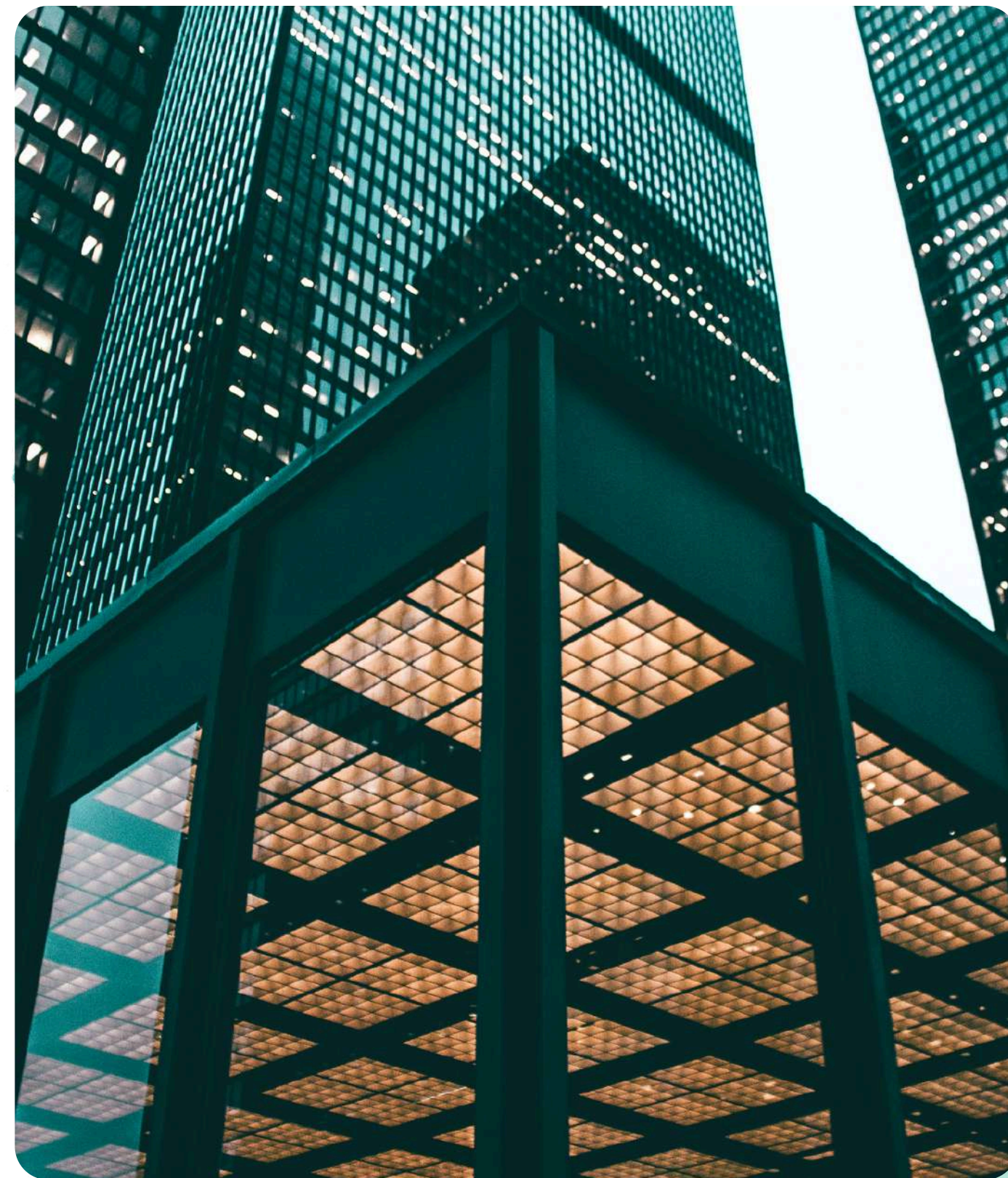
大阪府大阪市天王寺区上本町5丁目3番15号

サイネックスビル 3F

資本金：5,000万円

MAIL : info@scinex-nw.jp

URL : <https://www.scinex-nw.jp/>



サービス概要（シリーズコンセプト）



映像制作編

AI活用実践編

業務効率化編

生成AI社内浸透編

生成AI定着編



ChatGPT業務活用編

「DX化支援研修サービス」シリーズは、DX・生成AI活用を「知る」段階から「現場で使える」段階へ、さらに「組織に定着」する段階まで、段階的に引き上げる研修シリーズです。

各編は単体での導入も可能ですが、シリーズとして導入することで、

「スキル習得 → 業務適用 → 組織浸透 → 定着運用」の流れを一気通貫で構築できます。

このシリーズで実現できること

本シリーズは、生成AIを安全に活用しながら業務を標準化・効率化して生産性を高め、個人の活用に留めず組織全体で再現・定着する運用まで実現します。

現場の生産性向上



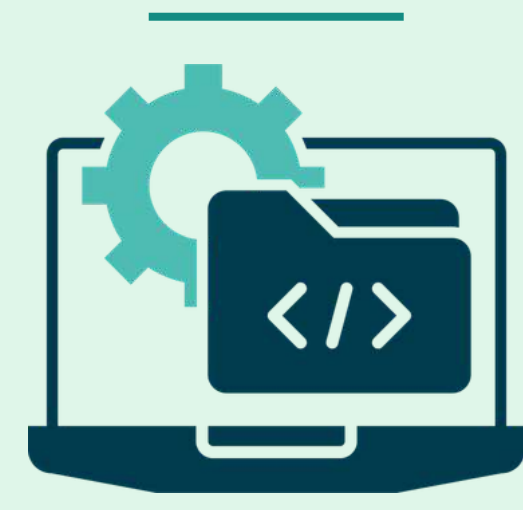
業務のムダや手戻りを減らし、標準化と効率化を実現

生成AIの安全運用



使いどころ・注意点・判断手順を理解し、リスクを下げて活用

社内展開・定着



活用が一部の人で止まらず、組織で再現できる運用に落とし込み



ご利用企業について

製造・小売・サービス・医療/介護など、幅広い業種の企業・団体にご導入いただいています。



AIを使っているが活用に不安

主に複数のAIツールの組み合わせ方を学びます



最近、業務が忙しく、余裕がない

AIで業務効率化し、時間とリソースを最大化



現場で活かせるAIスキルを習得

実践的なAIスキルを短時間で習得し、即戦力に！



当社が選ばれる理由

1

わかりやすい内容構成

共感できるストーリーを取り入れることで、AI活用の姿がイメージしやすくなり、すぐに現場で活かせる実践力へとつながります。

2

目的別に選べるコース

実務で活かせるスキル習得に向けて、目的に応じた最適なコースをご用意しております。

3

直感型LMS

直観的で分かりやすい操作性は多くの受講者様から高く評価されており、信頼性の高い学習環境で安心して活用いただけます。

4

本研修で主に学び、習得できること

生成AI／ChatGPTの使いどころと注意点、そして「場面→失敗→改善」で再現できる活用の型を身に付けていただけます。

5

本研修のストーリー部分の特徴

現場の「あるある」をストーリーで追体験し、失敗ポイントと改善の型を自分ごととして理解できる構成です。



構成の特長

従来の研修 課題

■内容が硬すぎる

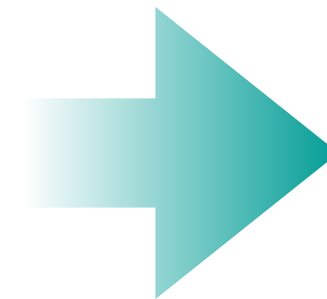
→受講意欲が高まらない

■頭に入っていない

→理解度にバラつき

■活用シーンを想像できない

→実務での活用イメージが持てない



当社のDX化支援研修サービス



興味喚起

- AIツールのイメージを紹介
- 「便利そう！」と受講意欲が高まる



疑似体験

- ストーリーで疑似体験
- 「あるある！」で理解度をそろえる



実体験

- 紹介手順通りに進めることで、操作感を体感できる



発見・想像

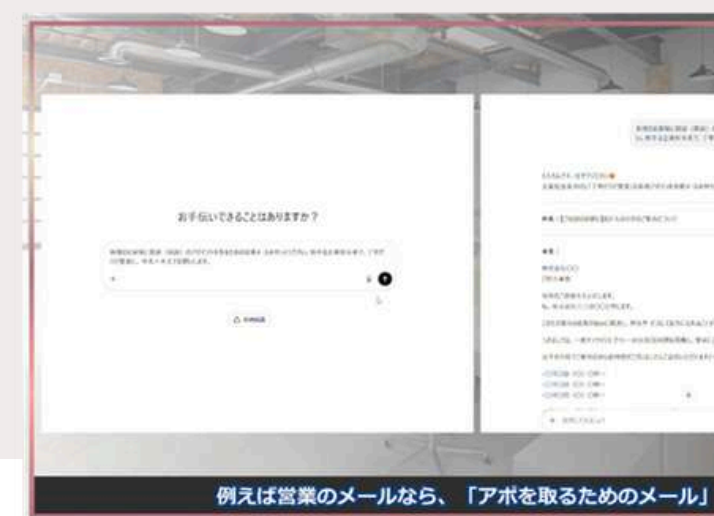
- 実際にAIツールを使用し、「そういうことね！」と活用イメージが明確に

飽きやすく実務に活かしにくい研修の課題を解消し、楽しみながら自然に応用力が身につく構成です。



ChatGPT業務活用編 (2026年2月リリース！)

FOCUS IS CHATGPT LEARNING



ChatGPT業務活用編

AIの力で課題を解決するストーリー

本教材は、介護現場で起きがちな「記録」「家族説明」「申し送り」「資料作成」「クレーム対応」などを題材にストーリー形式（ケーススタディ）で、ChatGPTの業務活用について学ぶeラーニング教材です。

AIワークフロー	AIエージェント
人が作ったルールの上を走る	ゴールに合わせて動きを変える
A → B → C	Start → Target
例：申請処理・定型報告書作成等	例：問い合わせ対応・個別提案等
AIワークフロー：やり方が決まっている業務向け	AIエージェント：状況を見て考える必要がある業務向け

そう、そういう動きをする可能性はある。だからAIの出力には誤りが混ざる前提で、最後は人が確認するのが基本になるよ。

現場を疑似体験できる

ChatGPTの使いどころ・注意点・判断の順番を【現場の状況】としてストーリーで体感できる。

つまりチャットを消すと、そのチャットのやり取りは見返せなくなるけど、私についての要点がメモリとして残ることはある、ってことですね。

再現できる型が身につく

「よくある場面 → 失敗しやすいポイント → 改善の型」の流れで学び、理解にとどまらず明日から同じ場面で再現できる行動に落とし込める。

他業務にも展開できる

内容は汎用的に設計されているため、介護以外の業務にも適用可能。

各章で学べる内容

■ 全14章構成 ■ 構成学習時間：約12時間 ■ 全動画120日間見放題

1章	生成AIの全体像（新人アシスタント視点） ・生成AIを「指示が必要な新人」と捉え、得意領域（下書き・整理・要約）を理解する	8章	音声入力での思考整理 ・声で未整理の情報を出し、要点整理と次の一手につなげる
2章	「それっぽいのに間違ふ」理由 ・正しさは保証されない前提を学び、点検して仕上げる使い方を身につける	9章	GPTsでクレーム対応を型化 ・感情受容→事実整理→再発防止までを、ロールプレイで反復できるようにする
3章	ChatGPTの学習と記録の違い ・パーソナライズ／メモリ／会話記録を整理し、設定で管理できるようにする	10章	クイズで定着 ・クイズ作成・共有で復習を回し、使いながら育てる運用を学ぶ
4章	基本操作と段取り ・画面操作・履歴整理を押さえ、「たたき台→追加指示→仕上げ」の進め方を習得	11章	マークダウンで出力安定 ・目的・前提・形式を構造化して渡し、抜け漏れ・ブレを減らす
5章	画像活用 ・写真を起点に質問・加工等を行い、問いを立てて成果物につなげる	12章	セキュリティ／著作権 ・プラン・設定の違いを理解し、安全に使う判断軸を持つ
6章	PDF活用 ・PDFをアップして必要箇所を抽出し、「読む」から「質問して使う」へ転換する	13章	習慣化① ・忘却を前提に、日常で使い続ける仕組みを作る
7章	資料作成のはじめ方 ・目的・ゴールを言語化し、下書きを整えながら進める型を身につける	14章	習慣化② ・出力を再編集し、AIと自分の役割分担を判断できるようにする

学習管理システム（LMS）について

1 直観的に分かりやすいデザイン

ユーザー視点を徹底し、誰にとっても理解しやすいシンプルかつ直観的なデザインで設計

2 結果の管理

各受講者の学習進捗および視聴履歴を記録しCSV形式でのデータ出力に対応している

3 飛ばし見防止機能付き

学習効果を高めるための飛ばし見防止機能を搭載

プラットフォームのイメージ

The screenshot displays the 'DX Support Training Service' interface. At the top, there are navigation links for 'トップ' (Home) and '講座' (Courses). The main heading is 'DX化支援研修サービス（業務効率化編）' (DX Support Training Service (Business Efficiency Edition)). Below this, a progress bar shows '0%' completion. A table titled '講座の受講情報' (Course Enrollment Information) provides details: '講座カテゴリ' (Course Category) is 'カテゴリなし' (None), '受講期間' (Enrollment Period) is '2025/04/28 17:40 ~', and '学習回数' (Learning Count) is '0回' (0 times). A list of course chapters follows, each with a video icon and a checkmark indicating completion: '01 【リレーション】 本研修監修者からのあいさつ(標準時間 : 06:02)', '02 【第1章】 本章の目的(標準時間 : 03:09)', '03 【第1章】 本章で学ぶAIツールの紹介(標準時間 : 09:41)', and '04 【第1章】 ストーリー : AIツール活用で変わる職場物語・オープニング(標準時間 : 07:40)'.

修了証明書のイメージ

The certificate is titled 'CERTIFICATE OF COMPLETION' and '修了証明書' (Certificate of Completion). It features a decorative gold border and a central emblem of a bird with wings spread. The recipient's name is '名前: 研修一 殿' (Name: Training One, Honorable) and the user ID is 'ユーザーID: 0000-00'. The course title is '【受講講座】 DX化支援研修サービス(映像制作編)' (Enrollment Course: DX Support Training Service (Video Production Edition)). The text states: 'あなたは上記受講講座のカリキュラムにおいて、全課程を修了したことを証明します。' (You are certifying that you have completed all courses in the above curriculum). The dates are '受講開始日: 2025年01月09日' (Enrollment Start Date: January 9, 2025) and '受講終了日: 2025年03月05日' (Enrollment End Date: March 5, 2025). The certificate is issued by '〇〇〇株式会社' (〇〇〇 Co., Ltd.) with a red square seal.

※受講を完了した証として、
修了証明書が発行されます。

サービス料金（受講料金）

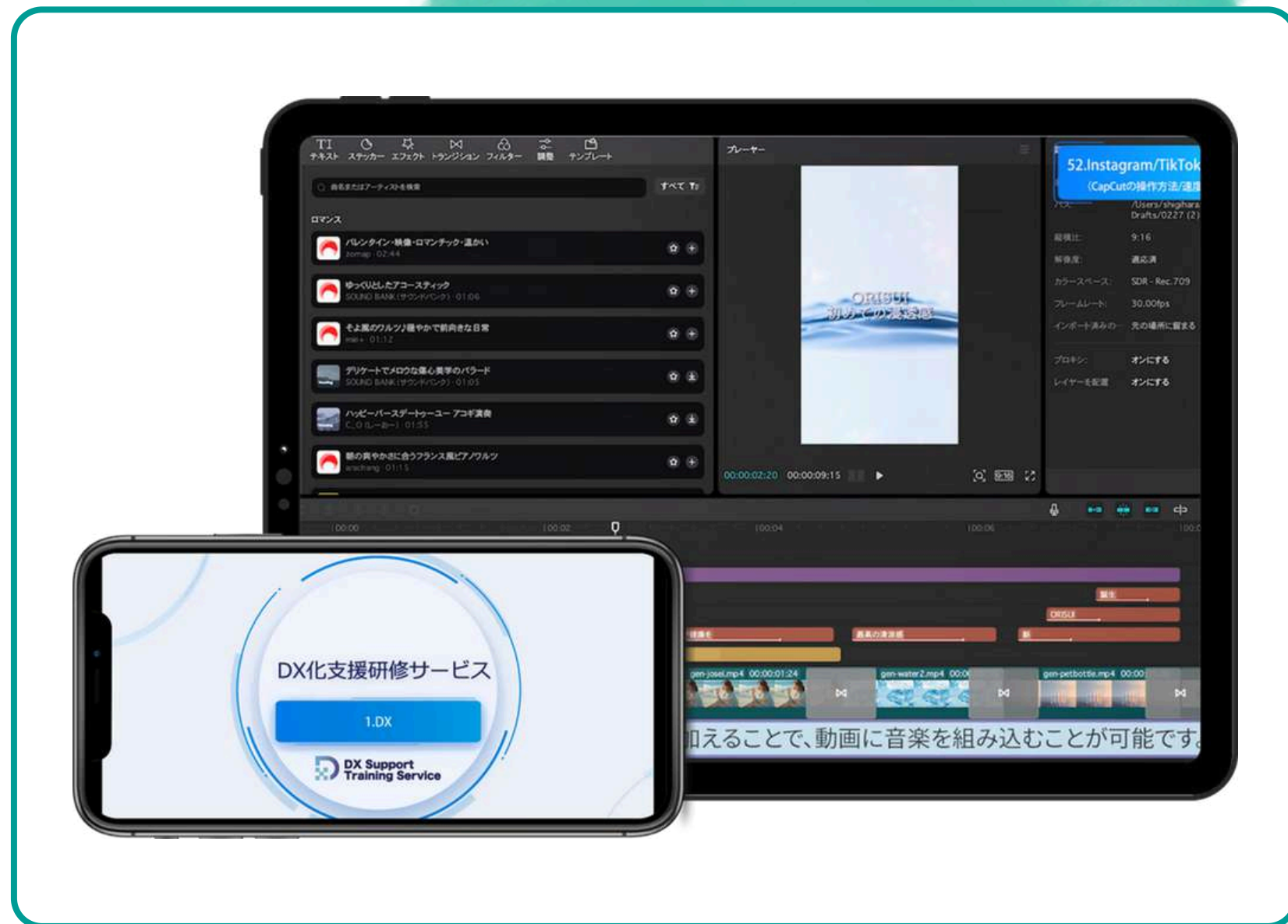
ChatGPT業務活用編

1名1コース：363,000円（税込）

■全14章構成

■標準学習時間：約12時間13分

■全動画120日間見放題



助成金の基本情報

対象の助成金

厚生労働省

「人材開発支援助成金 事業展開等リスクリング支援コース」

上記の助成金を活用することで、研修費用の負担軽減が狙えます。企業がAI人材育成に取り組む **絶好のチャンス** です。

1 助成金の対象

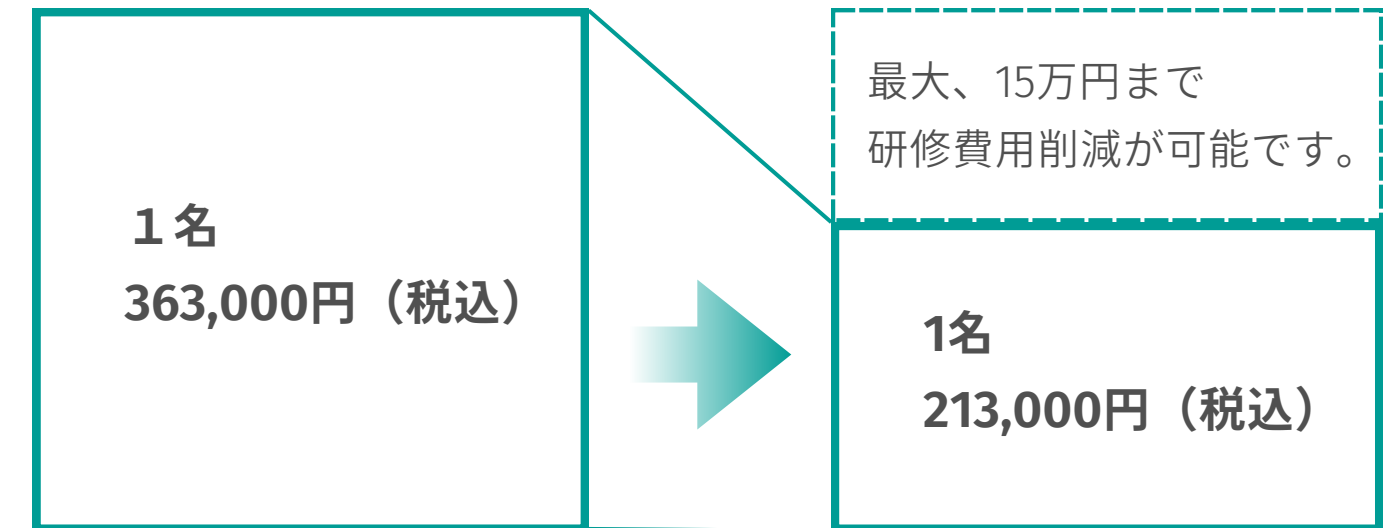
新たな商品サービスの提供や新分野進出。DX化による業務効率化が対象

2 年間最大助成額

1事業所あたり1億円

3 従業員1人あたりの経費助成限度額

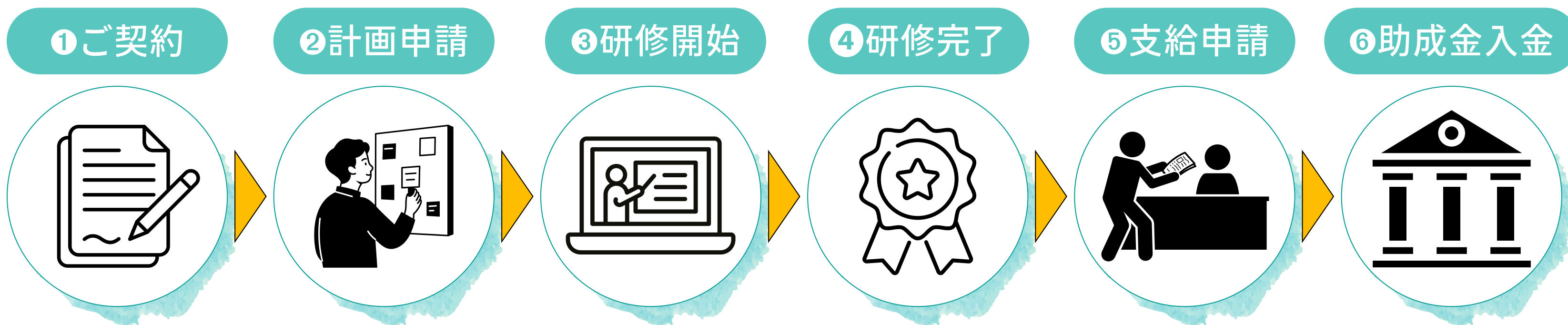
研修10時間～100時間の場合、中小企業15万円、大企業10万円



※大企業は最大100,000円の
助成額となります。

※ 2026年4月8日時点の制度を基に作成しています。
制度改正等により変更となる場合がございます。
最新情報は厚生労働省HPなどをご確認ください。

ご契約から助成金までの流れ



ありがとうございます

生成AIの急速な進化により、ビジネスの前提は大きく変わりつつあります。
さらに助成金制度という強力な後押しがある今、企業がAI人材を本格的に育成できる絶好のタイミングです。

「様子を見る」段階はすでに終わり
AIを使いこなせる組織かどうか、今後の生産性と競争力を左右します。

投資負担を抑えながら組織変革を進められる今こそ、AI人材育成に踏み出す最適な機会です。

いつでもお気軽にお問い合わせください。



DX化支援研修サービス担当

 06-6191-0061

 info@scinex-nw.jp

 www.scinex-nw.jp/dx/ 